

# 製品安全データシート

株式会社 立花マテリアル

大阪府豊中市服部寿町 5-157-1

TEL 06-6865-1601

FAX 06-6865-1613

MSDS 98I03CBG

改訂 平成20年 3月

1. 製品名 クリーンバック急硬剤G

## 2. 物質の特定

単一・混合物の区別 : 単一製品水溶液  
化学名 : けい酸ナトリウム (sodium Silicate)  
別名 けい酸ソーダ、水ガラス  
成分及び含有量 :  $\text{Na}_2\text{O}$  と  $\text{SiO}_2$  を主成分とする水溶液  
化学式及び構造式 :  $\text{Na}_2\text{O} \cdot n\text{SiO}_2 \cdot x\text{H}_2\text{O}$   
官報工事整理番号 : 化審法 : 1-508 安衛法 : なし  
CAS No. : 1344-09-8  
国連分類 : 8  
国連番号 : 1760

## 3. 危険有害性の分類

分類の名称 : 分類基準に該当しない。  
有害性 : アルカリ性のため目、皮膚にふれたり、飲み込んだ場合には刺激性がある。  
環境衛生 : 海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律に規定する有害液体質 (C 類物質)

## 4. 応急処置

目に入った場合 : 清浄な水で最低15分以上洗眼し、直ちに眼科医の手当てを受ける。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたの隅々まで水がよく行き渡る様に洗浄する。  
皮膚に付着した場合 : 汚染した衣類、靴等を速やかに脱ぐ。アルカリ製品なので、付着した部分を石鹸を用いなくて、微温湯または水を流しながら皮膚の刺激やぬるぬるする感じが無くなるまで洗い続ける。皮膚に異常があれば医師の手当てを受ける。  
吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動して水でよく口の中をうがいをする。必要に応じて医師の手当てを受ける。  
飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄する。多量の水を飲ませて可能であれば吐き出させ、直ちに医師の手当てを受ける。酸で中和しようとしてはいけない。

---

## 5. 火災時の措置

- 消化方法 : 不燃性につき該当しない。  
消化剤 : 不燃性につき該当しない。
- 

## 6. 漏出時の措置

- ・漏出した場所にはロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
  - ・作業の際には皮膚に付着したり、目に入らない様保護具を着用する。
  - ・少量の場合にはウエス等で拭き取るが、多量の場合には土嚢等で拡散防止を計り、ポンプ等でドラム、タンク、又はローリーに出来るだけ回収する。
  - ・回収できない残分は塩酸、硫酸等で中和する。
- 

## 7. 取り扱い及び保管上の注意

- 取り扱い : 1) 皮膚に触れないようにゴム手袋等を着用する。  
2) 目に入らないように保護眼鏡等を着用する。
- 保管 : 1) 包装容器は日陰の乾燥した場所に保管する。直射日光に長時間さらされるとけい酸ナトリウムが吹き出す事がある  
2) 0℃以下では凝固する事がある。この場合加熱するともとに戻る。  
3) 容器材質としてはアルミニウム、亜鉛などの金属は腐食されるので使用してはいけない。
- 

## 8. 暴露防止措置

- 管理濃度 : なし  
許容濃度 : 日本産業衛生学会：記載なし  
ACGIH：記載なし
- 設備対策 : 取扱場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼器等を必要に応じて設置する。
- 保護具 : 呼吸用保護具：防塵マスク  
保護眼鏡：安全眼鏡  
保護手袋：ゴム手袋  
保護衣：一般作業着
- 

## 9. 物理／化学物質

- 外観等 : 無色ないしわずかに着色した粘調性液体  
沸点 : 約 101℃      凝固点 : 0℃以下  
比重 : 1.36～1.38  
PH : 11～13
- 

## 10. 危険性情報（安定性・反応性）

- 引火性 : なし。      発火点 : なし。  
発火性 : なし。      酸化性 : なし。  
自己反応性・爆発性 : なし。      爆発限界 : なし。  
安定性・反応性 : 無機・有機酸と反応して、ゲルを生成する。  
アルミニウム、亜鉛を反応して水素を発生する。
-

---

1 1. 有害性情報（人についての症例、疫学的情報を含む）

刺激性（皮膚、眼）：アルカリ性を示し皮膚や粘膜を刺激する。  
感作性：知見なし。  
急性毒性：経口 LD<sub>50</sub> につき  
ラット：1,280 mg/kg  
マウス：1,600 mg/kg  
亜急性毒性：知見なし。  
慢性毒性：知見なし。  
がん原性：知見なし。  
変異原性：知見なし。  
生殖毒性：知見なし。  
催奇形性：知見なし。  
腐食性：PH11.5 以上のアルカリ性物質（EEC 指定）

---

1 2. 環境影響情報

分解性：知見なし。  
蓄積性：知見なし。  
魚毒性：次の値の報告がある。

水中生物種	実験方法	濃度(mg/L)	TLm時間
Canbsia affinis（淡海）	静的生物検定（急性）	2,400	48
Amphipoda	静的生物検定（急性）	895	24
		263	48
		160	96
Daphnia magna（無脊椎）		247	96
Lynmaea sp（卵）		630	24~96

---

1 3. 廃棄上の注意

- 1）水で希釈後、塩酸、硫酸等で中和し、沈殿物を濾過する。
  - 2）廃棄の際は「廃棄物処理法」「水質汚濁防止法」等関係法令を遵守し、適切な廃棄物処理業者に委託する。
- 

1 4. 輸送上の注意

- ・輸送の際は、タンクローリー車または密閉容器で輸送する。温度が下がる場合には保温または断熱する。
  - ・輸送の際は、容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下等により損傷がないよう積込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
- 

1 5. 適用法令

海洋汚染及び海上火災の防止に関する法律：規制なし  
消防法：規制なし  
労働安全衛生法（特化物、有機溶剤、表示物質）：規制なし  
毒物及び劇物取締法（毒劇物）：規制なし  
輸送関連法規（航空機）：規制なし

---

---

16. その他

有害性の評価は必ずしも十分でないので、取扱いには十分注意して下さい。

---

掲載内容の問い合わせ先

会社名 : 株式会社 立花マテリアル  
担当部門 : 東京支店  
電話番号 : 048-949-2101  
ファックス番号 : 048-949-2102